

第4回 駅西區画整理地内の市街地推進研究会 結果（概要）

- 1 日 時 令和5年9月15日（金）10：00から12：00
- 2 場 所 館林市役所 5階 研修室
- 3 参加者 7社
- 4 内 容（要旨）

（1）報告

- 第3回研究会の振り返り（資料1）

（2）意見交換

① 市街地推進施策について

- ✧ 住民アンケートについて、この地域にあったらいいと思う施設の内容が、市のにぎわい創出やまちづくりを目指すような広い視野の意見になっていないと感じる。
- ✧ 住民アンケートも非常に重要だが、事業者側の採算性の考え方とは異なることから、事業者側の意見も収集した方が良いのでは。例えば、コンパクトシティの考え方に合わせて、郊外店舗に対してまちなかへの移転、といった意見をとれば参考になるのでは。
- ✧ この地域にあったらいいと思う施設、という視点に加えて、その施設にどの程度お金を落としてもいいか、というところも確認する必要があると感じる。そういった視点でプロポーザルの審査をしていくと良い。
- ✧ お金を落とす、という視点だけを重視するのではなく、館林市らしさ、ストーリー性も重視した方が良い。

【市への質疑】

Q：プロポーザル選考員は誰を想定しているのか。

A：地区の区長や本研究会参加者を想定している。

Q：プロポーザルで公募する施設の内容に制限は設けないのか。

A：住民アンケートの結果を踏まえて募集をかけていきたい。

Q：住民アンケートの意見収集方法は。

A：現在はホームページのみ。

Q：プロポーザルで提案された施設と、住民が求める施設が異なる場合、調整ができるものか。

A：募集の対象施設として、都市機能施設や住民アンケートの結果を踏まえた施設、加えて市として必要な施設を設定したい。

Q：プロポーザルでは、テナント貸しできるような建物の建築も対象となるか。

A：貸付先を含めて審査する。

② 官民連携組織について

意見なし。

【市への質疑】

Q：市の官民連携組織への関わり方について。

A：市の活用されていない土地を、市総合計画や都市計画に沿った活用をしてもらい、維持管理費の削減と税収増を図る。

また、官民連携組織が行う、市の業務を補完する事業に対し、補助を行う。